

1 市民意見交換会の概要

(1) 開催趣旨

令和4年5～6月に実施された「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向けた市民意見交換会では、全市から集まった幅広い年齢層の市民の皆様が「内港地区の将来像のイメージ」「山下ふ頭のまちづくりのテーマ」「導入施設のイメージ」を議論し、様々なご意見・ご提案をいただきました。

今回、これらのご意見等を踏まえ、より具体的な再開発のイメージや導入機能等を伺うため、改めて市内各所において、市民等の皆様による意見交換会をワークショップ形式で開催しました。意見交換にあたっては、再開発のイメージや導入機能のアイデア等の背景にある理由や期待される効果などを引き出し、ご意見を深掘りすることを目的としました。

(2) 実施概要

今回は全5回計 172 名で、前回同様、幅広い年齢層が参加し、計 30 グループによる意見交換会が実現しました。

《募集期間》 令和4年 11 月 22 日(火)～5年1月 19 日(木)

《実施期間》

開催回	開催日	開催場所	募集人数	参加者数	グループ数
第1回	令和4年 12 月 17 日(土) 14:00～17:30	横浜市庁舎	64 人	44 人	8 グループ
第2回	令和5年1月 14 日(土) 14:00～17:30	横浜ビジネスパーク	64 人	38 人	6 グループ
第3回	令和5年1月 21 日(土) 14:00～17:30	山内地区センター	64 人	21 人	4 グループ
第4回	令和5年1月 28 日(土) 13:00～16:30	神奈川県労働文化センター	64 人	26 人	4 グループ
第5回	令和5年2月 5 日(日) 14:00～17:30	横浜市庁舎	64 人	43 人	8 グループ

合計 172 人 30 グループ

《ファシリテーター》 ※()内数字は参加回

大木 淳(統括ファシリテーター／1・2・3)

林 一則(1・2・3・4・5)

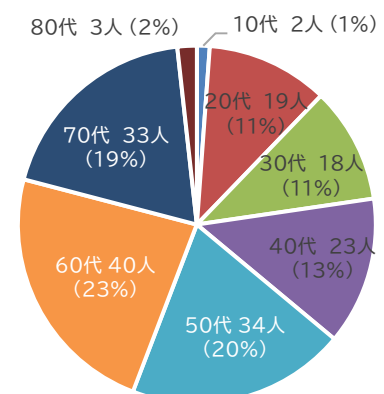
岡村 竹史(1・2・3・4・5)

角野 渉(1・2・3・4・5)

高橋 慧一(2・5)／小泉 瑛一(1・2・4・5)

佐藤 宜章(1・5)／相澤 くるみ(1)／小林 春美(1)

片岡 公一(5)／山口 雄之(5)



参加者の年代別割合

(3) 当日の流れ

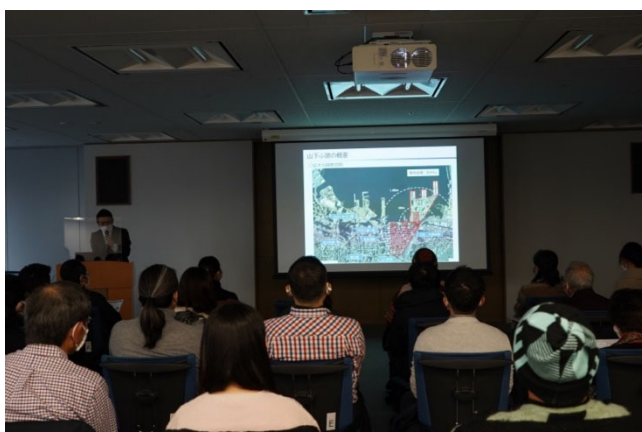
ア 開会・ご挨拶

冒頭、横浜市港湾局より、ご挨拶申し上げます。前回の市民意見募集等で多くのご意見いただいたことに感謝を述べるとともに、その結果を踏まえて山下ふ頭の再開発について意見交換を行っていただきたい旨をお話させていただきました。



イ 横浜市からの説明

横浜市港湾局より、「山下ふ頭及び周辺地区の概要」「これまでの検討状況」「前回の市民意見募集等の結果概要」等の説明を行いました。また、今回のワークショップの目的である「前回の市民意見募集等の結果を踏まえ、より具体的な再開発のイメージや導入機能などを深掘りする」ことを共有するとともに、グループワークの流れについて説明しました。



ウ 統括ファシリテーターからの事前説明

統括ファシリテーターより、当日のスケジュールやグループワークの進め方、話し合いにあたっての注意点等について説明しました。



エ グループワーク

各グループのファシリテーターによる進行に従ってグループワークを行いました。

前半は「再開発のイメージ(大切にしたいこと)」について考え、その理由も述べていただいた上で、「グループ内で話し合うテーマ」を決めていただきました。

後半は「具体的な導入機能」について考え、その導入機能が「なぜ山下ふ頭であるべきなのか?」「その効果は?」等についてご意見を述べていただきました。



オ 各グループからの発表

各グループでまとめていただいた成果を、グループ内で選出した発表者に約5分で発表をしていただきました。



カ 統括ファシリテーターからの総評

統括ファシリテーターより、各グループの発表を聞いた感想と、当日参加した方からのご意見の傾向について総評を述べました。



キ 閉会

横浜市港湾局より、閉会のご挨拶を申し上げます。ご参加いただいたお礼を申し上げますとともに、ワークショップでいただいたご意見を委員会の場で活用させていただく考えをお伝えしました。再開発に関するご意見を受け止めながら検討を進めることをお話させていただきました。

